

戦争法からまる3年！ この政治をチェンジする！

安倍9条改憲NO! 沖縄・辺野古新基地建設阻止!
「9.19 日比谷野音集会」に 4,800 人が結集!



他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を柱とした「安保関連法」（戦争法）の成立からまる3年を迎えた9月19日、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が呼び掛けた「日比谷野音集会」には、会場に入れきれないほどの労働者・市民4,800名が詰めかけた。手に「辺野古新基地NO!」「安倍内閣は退陣を！」等のプラカードを掲げ、「戦争法は絶対廃止!」「改憲発議、必ず止めよう!」と怒りの声を上げた。

主催者を代表して、総がかり行動実行委員会の高田健共同代表が「3年前、雨が降る中で国会を取り囲んだが、どんなに悔しかったか。引き続き安倍9条改憲を阻止するために、国会の中と外と連帯して闘い抜こう」と挨拶した。続いて立憲野党の代表者から、沖縄県知事選での玉城候補の勝利と来年の参院選の勝利、戦争法を廃止する決意が述べられた。また、安保法制に反対する学者の会の上野千鶴子さん、「止めよう!辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の渡辺治さん、沖縄平和運動センター議長山城博治さんから力強く連帯の挨拶が述べられた。

最後に、福山真劫共同代表より行動提起があり、(1) 沖縄闘争に勝利すること、(2) 憲法9条の改悪を阻止すること、(3) 東アジアの非核・平和を実現すること、そして具体的には、①9月30日の沖縄県知事選で玉城候補を勝利させよう、②憲法改悪阻止に向けた署名は現在1,350万、3,000万を目指そう、③10.19、11.3国会前集会に結集しよう、④来年の各種選挙、参院選で立憲野党の勝利を獲得し、最低でも与党2/3割れを目指そう、そして安倍内閣を倒そうと訴えられた。集会終了後、銀座までデモ行進した。

安倍政権の暴走を許さず、戦争法を必ず廃止させよう!